

長野の林業

No.
379

特集

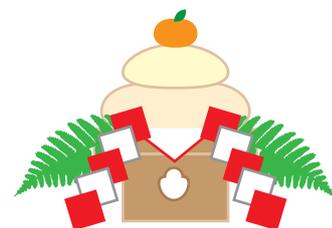
新年のごあいさつ

トピックス

- ・中部・北陸ブロック林業グループコンクール
- ・きのご料理コンクール
- ・長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式

県森連だより

新春特別企画



謹賀新年



スノーシューで登ったトーマの頭から雪化粧した浅間山を望む。麓は信州カラマツのふるさとです。



中部森林管理局長

上 練 三



国民の森林・国森林

林業サイクルの 実現に向けて

◇新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、令和四年の新春を健やかに迎えられ、心よりお慶び申し上げます。今年こそは、コロナ禍のない、平穏で輝かしい年になることを願ってやみません。

◇新年の抱負

中部局としては、昨今、山地災害が激甚化する中、地方公共団体等との連携を密に、災害時の緊急対応、適切な治山対策の実施等に全力を上げてまいります。また、循環可能な林地での林業サイクルの持続には低コスト化の実現が欠かせません。当局ではかなり浸透してきた伐採・造林一貫作業に加えて、林業イノベーションの国有林現場への適用や民有林内への技術支援に向けて、更に段階を進めるとともに、新しい林業を目指し、特定母樹の利用に向けた普及等にも取り組めます。木材供給では、計画的・安定的な一般材システム販売に加え、まろくろく まろくろく 木曾ヒノキ等優良材生産や、特殊な寸法・品質の木材ニーズにも応えるべく、市町村等と連携して取り組みます。さらに、多様な国立公園や自然休養林等を活かし、癒しの提供や森林サービス産業の構築に貢献する考えです。

◇関係者へのメッセージ

ウッドショックと言われる現下の状況を変えて、今年が、長野県の林業・木材産業、ひいては地域経済にとつてのジャンプアップの年となるよう、当局として貢献してまいりたい考えです。併せて、関係の皆様方の益々のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。



長野県林務部長

井出 英治



次代を見据えた 森林づくりに向けて

◇新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様には、日頃から県の林務行政の推進にあたり、格別なる御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

◇新年の抱負

今年、県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2・0」、森林づくりの基本的な展開方法を定めた「長野県森林づくり指針」、そして第3期長野県森林づくり県民税が同時に最終年度を迎えます。いずれも、来るべき新年度は総仕上げを図る重要な1年です。

これまでに取り組んできた成果の総括に加え、総合5か年計画は、令和5年度からの5年間、そして長野県森林づくり指針は、100年先の森林の姿を見据え、中・長期の森林・林業ビジョンを描いたうえで新たな計画、指針の策定作業などを進めてまいります。

昨年、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、名称が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に改められました。

法律の対象が公共建築物から建築物一般にも拡大されたことから、県としてはこの改正を踏まえ、法律に基づき県が定めた県産材利用方針の対象に民間建築物等を加えるなどの見直しを進めており、幅広く県産材が使われる仕組みづくりを進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

今後、県民の皆様や、林業・木材産業関係の皆様、市町村などの皆様とともに、森林づくりや林業・木材産業の一層の発展に取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって良き一年となりますことを心から祈念し、新年の御挨拶いたします。



長野県森林組合連合会
代表理事 会長
藤原 忠彦



期待に応えられる
森林組合システムを目指して

◇新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

未だ収束しない新型コロナウイルスの影響による世界的な木材需給の変動、成熟した森林資源の活用、持続可能な社会の実現など、情勢が大きく変化し課題が山積する中、皆様方には、日頃から長野県森林組合連合会及び県下18森林組合の活動にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

◇新年の抱負

昨年10月の全国森林組合大会で決議された、新・森林組合系統運動「J Forest ビジョン2030」では、組合員サービスの向上、働く人の所得向上と就業環境改善、事業拡大と効率化による経営の安定の、3課題に系統一丸となって取り組むこととしております。

県森連としては、森林組合の、自治体と連携した地域の森林管理体制の確立と組合員に信頼される組織体制の構築に向けた取り組みや、労働安全意識の徹底、労働環境の改善を含めた高度人材の確保・育成の取り組みへの支援のほか、循環型林業に繋がる長野県産材の販売力強化、ICTを活用した効率化や新たな価値の創造への環境整備と情報発信などを引き続き進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

気候変動対策などSDGsの達成に向け、かつてなく森林・林業への関心と期待が高まっております。このような中で森林組合の社会的意義を自覚し、協同の力によって課題に取り組んでまいりますので、引き続き森林組合系統へのご指導、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、コロナ禍が一刻も早く収束し、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅



「ウィズウッド (With Wood)
社会の実現に向けて」

◇新年のごあいさつ

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

皆様方には、当連合会の活動に対しまして、御支援と御協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、ウッドショックの中にあつて、建築用、合板用、製紙・バイオマス用に至るまで県産材の需要は旺盛で、林業・木材産業界にとっては、総じて忙しい年であったと思います。

◇新年の抱負

林業の重要指標である素材生産量は、素材が市場において高値で取引されているにもかかわらず伸び悩み、山側の供給体制の脆弱さが露呈しました。

担い手の確保育成など、素材の安定供給に向けた根本的な課題の解決に取り組む、林業県を目指してまいります。

このウッドショックがいつまで続くのか、またどのように収束するのか予測することは困難と思われませんが、今回のウッドショックを契機に、外材に依存しない自国の貴重な資源である木材を適正に活用する社会へと、進んでいくことを期待するものです。

◇関係者へのメッセージ

国においては、2050年カーボンニュートラルを実現するために、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が昨年制定され、これまでの公共建築物に加え一般建築物にも木材を活用する方向性が示されたところです。

業界としては、この法律の精神を具現化する画期的な施策を渴望するとともに、ウィズウッド (With Wood) 社会の実現に向けて、ワンチームとなって、それに対する備えと自助努力を継続し、木材が当たり前に使われる社会の実現に取り組んでまいります。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

製材の担い手を育てたい

林材ライター 赤堀 楠雄



木材利用は製材からスタート

野菜は家庭で調理するのが当たり前ですし、魚も腕に覚えがある人なら腸(はらわた)を取ったり三枚におろしたりを難なくやってのけるでしょう。

しかし、木はそうはいきません。日曜大工でも、丸太を挽くところから自前でやるという人はそんなにはいないはずで、たいがいは板や角材になったものを入手して腕を振るっているわけです。

合板やチップ、あるいは薪や炭をつくる場合を除き、ほぼすべての木製品は丸太を製材するところから利用がスタートします。そのプロセスを担うのが製材機をはじめ

めとする専門の機械や設備を備えた製材工場です。その存在なくしては木材の利用は始まらず、林業という営みも成り立ちません。

小規模工場が減っている

ところが、1980年代はじめには全国に2万工場もあった製材工場は急速に減り続けていて、2020年末時点では4115工場と40年間で5分の1ほどにまで減少してしまいました。長野県内の工場数も1980年の904工場が2020年には131工場と激減しています。

国の政策方針としては製材工場の大型化が指向されていて、各種の公的支援は比較的規模の大きな工場に対して講じられる傾向があります。そのため、最近では小規模工場が減る一方で、大規模工場はむしろ増加傾向にあり、結果的に大規模工場の市場シェアが増大し

ています。欧米に比べて日本は製材工場の数が多く、業界の再編が必要だという見方もあります。

ただ、小規模工場が減少するというのは、例えば裏山の木を自家や地域で利用するために地元の製材所に持ち込んで賃挽きしてもらい——といった地域密着型の木材利用がしづらくなることも意味します。そうした小回りが利く製材機能を地域でいかに維持・確保するかという課題に私たちは向き合う必要があります。

製材を学べる機会がない

兵庫県丹波市で森林管理から製材、木材販売を一体的に手掛けている(有)ウッズ(能口秀一代表)が12月10〜12日に「製材セミナー」を開催し、林業従事者、原木市場スタッフ、工務店経営者など5名が受講しました。

このセミナーが開かれるのは今回が4回目で、内容は立木や原木の品質の見分け方、製材の実習、乾燥や強度の測定、番付け(設計内容に合わせて材料の配置や向きを決めること)の基礎等々と製材にまつわる全般にわたります。私

は毎回サポート講師役として参加していてその度に痛感するのですが、こうした学びの機会は、製材業界における人材育成のためにも必要ではないでしょうか。

林業界では「緑の雇用」事業で新規参入が促進され、キャリアアップを図るための研修制度も充実しています。一方、製材業界ではこうした取り組みは個別企業の努力に委ねられているのが実情で、職場以外で製材技術を学ぶ場もほとんどありません。

「製材工場に就職したい」、「製材がやりたくて山村に移住してきた」——、そんな人が出てくるように、製材業界の人材育成に力を入れる必要があります。



自分が挽きたい丸太を選び、木取りを検討する(ウッズの製材セミナーで)



中部・北陸ブロック林業グループ コンクールを開催しました

令和3年11月25日(木)、26日(金)に長野市において、中部・北陸ブロック林業グループコンクールを、全国林業研究グループ連絡協議会、長野県林業研究グループ連絡協議会と長野県の共催で開催しました。

同コンクールは、愛知県、石川県、富山県、岐阜県、福井県、静岡県、新潟県及び長野県の八県からなる中部・北陸ブロックにおいて、地域の振興・活性化を図る林業グループが、体験・成果を発表・討議することによって、相互の発展を図るとともに、特に優秀な実績を挙げたグループを表彰するものです。



田中長野県林研会長挨拶

本年度は、コロナ対策を十分に実施したうえで、中部北陸地域の7県等から26名、県内の39名、合計65名が参加し、2年ぶりに顔を合わせての集合開催となりました。

初日は、ホテルメトロポリタン長野(長野市)において、各県の代表が活動の発表を行うコンクールが行われ、各地域の課題や特色を反映した活動が十分に伝わった。

発表後、長野県林務部信州の木活用課飯田課長を審査委員長とした4名の審査員による厳正な審査が行われ、一席に高岡地区林業研究グループ(富山県)の「里山再生に向けた取り組み」、二席にNPO法人「森林楽校・森んこ(福井県)の「野鹿プロジェクト」が選ばれ表彰されました。

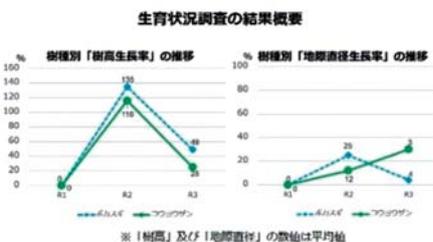
一席の高岡地区林業研究グループの発表は早生樹の可能性に着目し、コウヨウザンと地元の資源であるボカスギの詳細な生育調査の実施と、得られたデータの解析により、地域の森林資源を里山再生に生かしていこうとする、ビジネ

スとしての林業の発展に取組む内容でした。

審査員からは、詳細な調査とデータを解析して課題解決を図る手法が研究を是とする林研グループらしいと高く評価されました。

3 活動の内容(里山再生への取組)

①早生樹の可能性に着目



コウヨウザンはボカスギと同等の生長率
富山県の発表資料(一部抜粋)



各県のコンクール発表者

二席のNPO法人「森林楽校・森んこ」の発表は、シカ肉のジビエとしての活用や地域活性化に取り組み活動が、わかりやすく伝わってくる発表でした。シカの生態調査に併せ、資源としてシカの管理を進めたいという挑戦的な活動予定もあり、全国のシカ食害に悩む地域にとって大いに参考になると期待が膨らむ内容でした。

長野県からは青木村のこまゆみ遊林会が参加し、森林の環境改善によるオオムラサキの育成環境整備、地域と連携した里山の整備や資源利用への取組みが発表されました。林業技術の習得や安全対策など、会員自身が森林で学び、それを実践される様子が伝わる発表

【長野県林業研究グループ連絡協議会

長野県きのこ料理コンクールが開催されました

過日、令和三年度長野県きのこ料理コンクールが、信州きのこ祭り推進協議会の主催で開催されました。同コンクールは、自然食品、健康食品として注目されるきのこを材料にした、アイデアに富む料理を募集し、優秀な作品を選奨するとともに、広く公開してきのこの消費拡大を目的とするコンクールです。

本年度は応募総数五十六点の中から、審査員（長野調理製菓専門学校石坂豊明校長他4名）が、おいしさやアイデアの斬新さ、普及性を審査し、最優秀賞他4点を選出しました。最優秀賞に輝いた柳澤樹里さんの「餅ニョッキの和風きのこクリーム」は余ったお餅

長野県きのこ料理コンクール 受賞者一覧 (敬称省略)

賞	作品名	出品者
最優秀賞	餅ニョッキの和風きのこクリーム	柳澤 樹里
優秀賞	きのこナゲットの鹿の子揚げなめこタルタルソース添え	佐々木 妙子
優秀賞	きのこたっぷりズードル	佐々木 羽唯夏
優秀賞	誰でも食べやすい！ポリウム満点きのこアボカドキッシュ	伊藤 美悠
優秀賞	鮭の免疫ハンバーグ	毛呂 叶美



最優秀賞
「餅ニョッキの和風きのこクリーム」

いるのが面白い。「調理時間が二十分と短時間に作れることが魅力的。また、余ったお餅を使うといった残り物を作らない心がとてもよい。」と賞賛コメントをいただきました。

選出された受賞品のレシピは、コミュニティウェブサイトの「クックパッド」長野県公式キッチンに掲載していく予定です。当サイトには過去の長野県きのこ料理コンクールの受賞作品など長野県にちなんだレシピが掲載されていますので、ぜひご覧ください。

クックパッド

長野県公式キッチン

はなから



【信州の木活用課】

第44回長野県児童・生徒木工工作コンクール 表彰式を開催

表彰式を開催

令和3年11月28日(日)長野県立美術館「ホール」(長野市)において、「第44回長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式」が、受賞者やその関係者の皆様のご参加により開催されました。

このコンクールは、県内の小・中学生及び特別支援学校の児童・生徒が身近な木材を生かして素直で自由な発想で作品を創作することで、子供たちの豊かな成長、大切な自然との関わり、ものを作る喜びを知ってもらうため、「長野県森林づくり県民税」を活用して実施しています。

今年度は、参加学校数136校、応募総数4347点の応募をいただき子供達力が、県内各地より寄せられどれも素晴らしい作品が出品されました。表彰式では、受賞者へ県産スギ材の木製賞状が贈呈されました。

【県産材利用推進課】



《中学校の部》
「写真入れつき時計」
原村立原中学校1年
菊池 桜介さん



《小学校高学年の部》
「めでたい」
南木曾町立南木曾小学校6年
松下 世さん



《小学校低学年の部》
「かんなくずファッション」
信州大学教育学部附属松本小学校3年
等々力 蒼乃さん



《特別支援学校(級)の部》
「ぼくの住みたいおうち」
大町市立大町東小学校4年
大田 晃大さん



表彰式の様子

災害に備える森林保険

冬期の積雪による幹折れや雨水害、春先の森林火災が心配…
森林保険に加入しておけば安心です！



【長野県1ha当たりの代表例】樹種毎の標準的な保険金額と保険料（保険期間：平成31年4月1日～）



契約時 林 齢	カラマツ			ヒノキ		
	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払
1年	80	3,432	20,296 （割引額 2,439円）	101	4,332	27,444 （割引額 3,356円）
2	92	3,946		119	5,105	
3	108	4,633		144	6,177	
4	119	5,105		166	7,121	
5	131	5,619		188	8,065	
26	177	5,699	25,647 （割引額 2,848円）	299	9,627	43,325 （割引額 4,810円）
27	177	5,699		299	9,627	
28	177	5,699		299	9,627	
29	177	5,699		299	9,627	
30	177	5,699		299	9,627	

保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。
保険加入契約は、1年毎よりも割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です！

【問い合わせ先：長野県森林組合連合会（TEL 026-226-2504）、またはお近くの各森林組合へ】

<長野県林務部森林づくり推進課>

令和3年度治山・林道コンクールの表彰

（二社）日本治山治水協会・日本林道協会主催令和3年度治山・林道コンクール表彰式が、11月24日、東京都千代田区平河町「海運クラブ」において開催され、左記の通り受賞されました。

◆第44回林道維持管理コンクール

林野庁長官賞

赤石線 飯田市長 佐藤 健

◆第22回民有林治山木材使用工事コンクール

（二社）日本治山治水協会長賞

令和元年度 緊急総合治山事業

第四号工事（長野市戸隠）

長野地域振興局 林務課

長野県治山林道協会 事務局
〒380-8567 長野市岡田町30-16
(026)228-5571

令和3年度スローガン

- ❖ 流域治水と連携した流域保全対応の治山対策の推進
- ❖ 被災林道の早期復旧と災害に強い路網整備の推進



丸太残存型枠による県産材の積極的な活用
（長野市戸隠緊急総合治山工事）



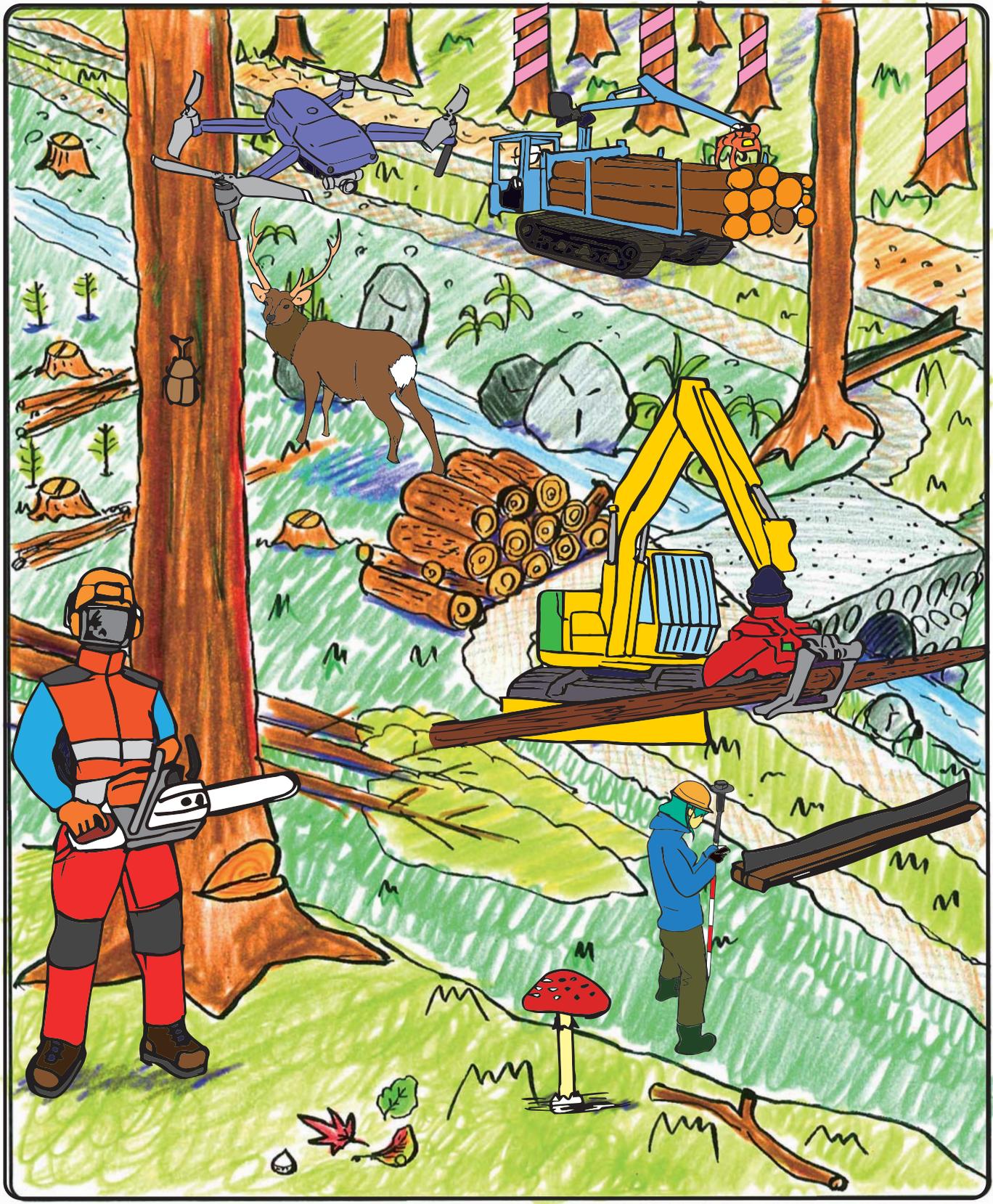
維持管理活動（林道赤石線）



みんなで考えよう

ガレクイズ

木材を伐採している林業現場を見学！
よ〜く見ると変わったところが…。
左右の絵を見くらべて、ちがうところを
10コ見つけよう！



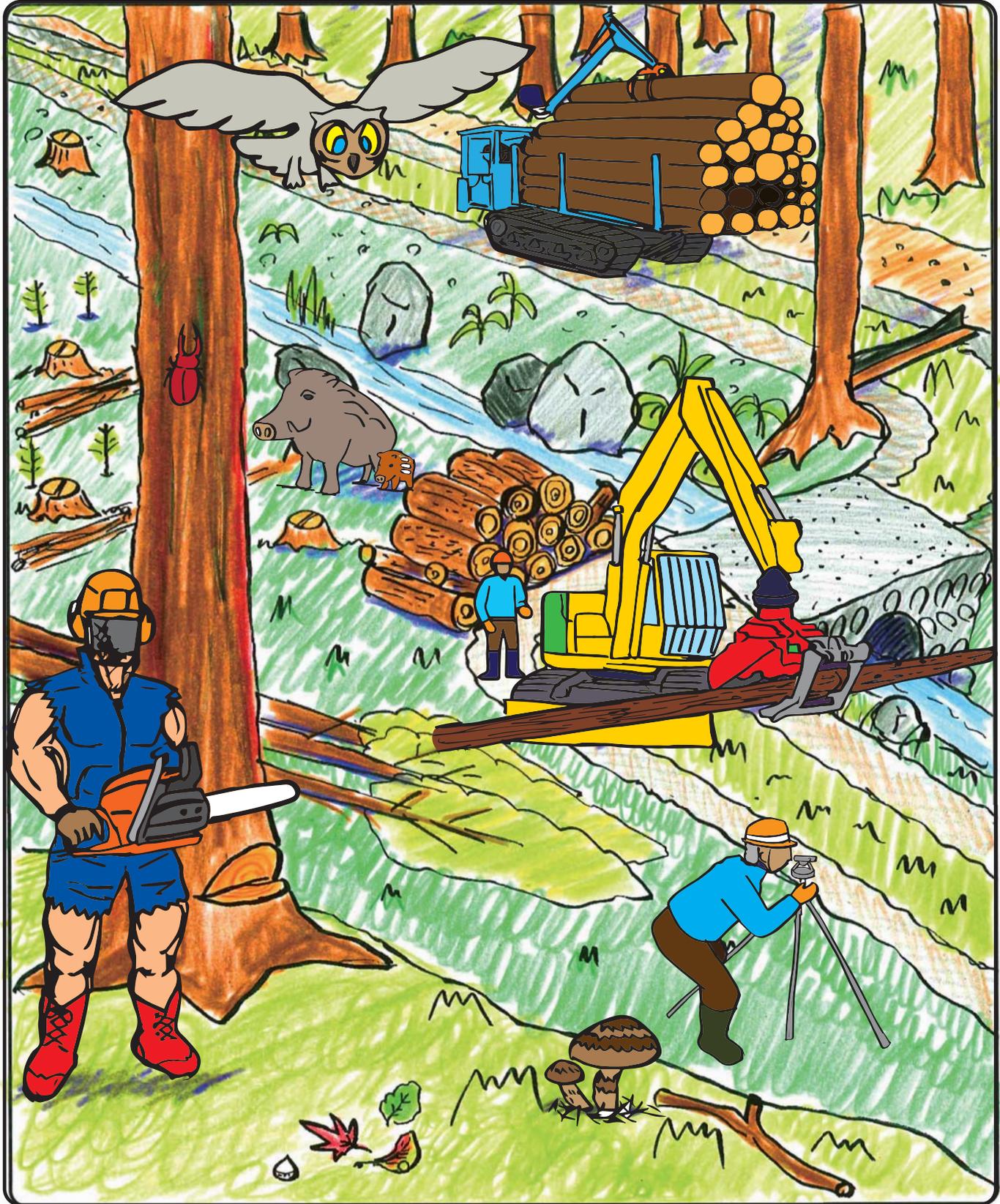


←県森連 HP にカラー版を掲載しています。

新春特別企画！

林業ちがいさ

※答えは次号にて解説します。





令和3年度記念市を開催

11月16日から18日にかけての3日間、長野県森林組合連合会の各木材センターにて、当会の販売事業の一大イベントである「記念市」が行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで、約1年半ぶりの会場入札にて実施したことから、活気ある市売が戻ってまいりました。森林組合をはじめ、多くの出荷者様から優良材をご出品いただき、多くの木材需要の追い風も受け、近年にない極めて優秀な販売実績を残す記念市となりました。関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

中信木材センター（11月16日）では、トチ4.8m（末口66cm）520,000円/mなど広葉樹を中心に高値が付きました。販売量は6,853.3mで、売上高は1億50万円でした。伊那木材センター（11月17日）では、ヒノキ構造材に応札が多く集まり、エンジュ4.0m（末口38cm）70,000円/mのほか、さくらやミズナラ、クルミなど広葉樹も完売し、活発な市売になりました。販売量は2,875.3mで、売上高は5,355万円でした。北信木材センター（11月18日）では、スギ、カラマツの一般材の材価上昇や、クリ4.0m（末口42cm）70,000円/mやトチ、ケヤキ、さくらの広葉樹大径材と優良材が高値で取引されたことから、販売量は9,489.3m、売上高は1億534万円と開設以来初の1億円台を突破しました。

※裏表紙に記念市の様子を市況グラフとともに写真付きで紹介しています。

2022年 長野県内木材市売日程

飯伊 長野県 森林組合 連合会				木曾 官材市 売協 同組 合			
飯伊 森林組合 木材共販所		長野県 伊那木材 センター		森林組合 中信木材 センター		連合会 北信木材 センター	
本部（製品）		荻原（原木）		坂下（原木）		国有林土場等活用 委託販売（原木）	
初市	初市	初市	初市	初市	初市	初市	初市
20日（木）	19日（水）	18日（火）	19日（水）	22日（土）	25日（火）	13日（木）	12日（水）
17日（木）	9日（水）	8日（火）	9日（水）	19日（土）	22日（火）	2日（水） 17日（水）	8日（火）
17日（木）	2日（水） 23日（水）	1日（火）	2日（水）	19日（土）	23日（水）	3日（水） 17日（水）	2日（水）
14日（木）	13日（水）	12日（火）	13日（水）	16日（土）	19日（火）	5日（火） 21日（木）	13日（水）
19日（木）	11日（水）	10日（火）	11日（水）	21日（土）	24日（火）	12日（木）	10日（火）
16日（木）	1日（水） 22日（水）	21日（火）	22日（水）	18日（土）	21日（火）	1日（水） 16日（木）	7日（火）
14日（木）	13日（水）	12日（火）	13日（水）	23日（土）	26日（火）	6日（水） 21日（木）	5日（火） 27日（水）
25日（木）	3日（水） 24日（水）	2日（火） 23日（火）	3日（水） 24日（水）	27日（土）	30日（火）	3日（水） 24日（水）	18日（水）
15日（木）	14日（水）	13日（火）	14日（水）	17日（土）	21日（水）	7日（水） 22日（木）	13日（火）
20日（木）	12日（水）	11日（火）	12日（水）	15日（土）	18日（火）	5日（水） 26日（水）	12日（水）
17日（木）	15日（火）	14日（月）	16日（水）	12日（土）	15日（火）	9日（水） 24日（木）	8日（火）
20日（火）	14日（水）	13日（火）	14日（水）	10日（土）	13日（火）	14日（水）	6日（火）

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせいただくか HP をご覧ください。

「緑の募金」にご協力ありがとうございました

令和3年の募金額は速報値で7400万円を超えました。これは前年を300万円も上回る額です。ご寄附いただいた緑の募金は、里山の手入れ、学校・公園等の緑化、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。



みどりの少年団が麓のブナの森で自然観察会を行いました



里山にある「市民の森」の森林を整備しました

中学生等が「クマ剥ぎ防止のテープ巻き」を実施しました



小学校の学校林に階段を設置しました



美しい信州の緑や森林づくりのため「緑の募金」にご協力をお願いいたします



「緑の募金」への寄付は
SDGsに貢献することにもなります

長野県緑の基金では令和3年度から長野県SDGs推進企業登録制度に登録している企業への募金依頼を始めました。寄附された企業様にはステッカーを配付しています

1万円超のご寄附をいただいた企業様のうち希望される方には、名入れの木製（ヒノキ）プレートを贈呈しています

1万円以上のご寄附をいただいた皆様は、ご了解を得たうえで長野県緑の基金のホームページや機関誌等に掲載しています



公益財団法人 長野県緑の基金
長野市大字南長野字幅下692-2
長野県庁 林務部森林づくり推進課内
TEL026-232-0111(内線 4818,4819)
Eメール green@midori-joho.gr.jp



謹賀新年



<p>長野県林業経営者協会</p> <p>会長 神戸直日</p>	<p>一般社団法人 長野県林業普及協会</p> <p>会長 林和弘</p>	<p>長野県木材協同組合連合会</p> <p>理事長 宮崎毅 副理事長 佐原正良 副理事長 新築良彦 副理事長 麥井藤透 副理事長 宮島良彦 専務理事 柴野照幸 事務局長 松本昌弘</p>	<p>長野県森林組合連合会</p> <p>代表理事 藤原忠彦 副会長 林幸和 代表理事 高井幸弘 専務理事 櫻井肇</p>	<p>一般社団法人 長野県林業センター</p> <p>理事長 藤原忠彦 副理事長 宮崎正毅 副理事長 水本豪 専務理事 宮宣敏</p>
<p>長野国有林森林整備協会</p> <p>会長 由井隆三 副会長 林井弘 専務理事 酒井省三 長野市稲葉母袋沖六一二一 TEL (025) 2851907 FAX (025) 2851907</p>	<p>信州木材認証 製品センター</p> <p>理事長 宮崎毅 副理事長 鈴木正明 副理事長 高木吉生 専務理事 柴田幸生 事務局長 松本昌弘</p>	<p>林業・木材製造業 労働災害防止協会</p> <p>長野県支部 支部長 宮崎毅 支部長 高田幸彦 幹事 阿部勝彦 事務局長 柴田生志</p>	<p>長野県林業団体協議会</p> <p>会長 高田幸彦 副会長 藤原忠毅 副会長 宮崎正豪 副会長 水本豪</p>	<p>一般財団法人 長野県林業労働財団</p> <p>長野県林業労働力確保支援センター</p> <p>理事長 山口勝也 役員一同</p>
<p>南佐久北部森林組合</p> <p>代表理事 佐々木勝</p>	<p>農林中央金庫</p> <p>部長 宇都宮正一 関東業務部</p>	<p>長野県林業薬剤防除協会</p> <p>会長 牧司</p>	<p>森林・林業の総合アドバイザー 一般社団法人 長野県林業コンサルタント協会</p> <p>理事長 羽田健一郎</p>	<p>長野県山林種苗協同組合</p> <p>理事長 富澤修一 組合員一同</p>
<p>木曾森林組合</p> <p>代表理事 原久仁男 組合長 久仁男 役員一同</p>	<p>緑の担い手 信州上小森林組合</p> <p>代表理事 倉沢明人 組合長 倉沢明人 役員一同</p>	<p>緑を育て山を守る 佐久森林組合</p> <p>代表理事 山岸喜昭 組合長 山岸喜昭 役員一同</p>	<p>レストラン 四季の味 樹木里 南佐久南部森林組合</p> <p>代表理事 由井明彦 組合長 由井明彦</p>	<p>南佐久中部森林組合</p> <p>代表理事 黒澤和夫 組合長 黒澤和夫</p>



謹賀新年



長野県水源林

造林協議会

会長 白鳥 孝

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎
役員一同

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県森林組合長会

会長 長林 和弘

長野県特用林産振興会

会長 長林 和弘

長野県林業研究グループ

連絡協議会

会長 田中 忠

長野県林業士会

会長 飯森 幸彦

長野県生産森林組合 等団体有林連絡協議会

会長 鮎澤 光昭

佐久森林林業振興会

役員一同

上小林業振興会

会長 羽田 健一郎
役員一同

諏訪地域森林づくり 林業振興会

役員一同

上伊那山林協会

役員一同

下伊那山林協会

役員一同

木曾山林協会

会長 貴舟 豊
役員一同

諏訪森林組合

代表理事 組合長 藤森 良隆
役員一同

上伊那森林組合

代表理事 組合長 白鳥 孝
役員一同

飯伊森林組合



代表理事 組合長 林 和弘
常代表理事 吉澤 悦史
役員一同

根羽村森林組合

信州根羽すぎ・根羽ひのき
代表理事 組合長 大久保 憲一
役員一同
下伊那郡根羽村四〇七―一〇
☎(〇二六五)四九一二二〇

松本地域森林 林業振興会

役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 新井 藤弘
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七―七
☎(〇二六七)二二二―二二一〇
FAX(〇二六七)二四一〇六八三



謹賀新年



上小木材協同組合

理事長 小林基英
組合員一同
上田市芳田一八一八一
☎〇二六八三五一四〇〇

南安曇木材協同組合

理事長 佐原良彦
安曇野市穂高七九四〇一二七
☎〇二六三三三三二二〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 松下勝彦
事務局 飯田市常盤町三〇
☎〇二六二五三三三三三三六

北信木材生産センター協同組合

代表理事 竹下元治
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木曽南部森林組合

代表理事 坂家重吉
組合長 役職員一同

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮崎正毅
下高井郡木島平村大字穂高三三八一
☎〇二六八九二一三一一八
FAX(〃)八二一四一五六

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮澤遥
長野市上曾根二一八八一五
☎〇二六三三九一〇五八八〇
FAX(〃)三三九一三三八八〇
環境事業部 ☎〇二六三三九一三二二六〇
FAX(〃)三三九一三二二六〇

齋藤木材工業株式会社

ハイグレード集成材 信州唐松丸
代表取締役社長 齋藤健
〒386 0603 長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL(〇二六八)六八三三五五
FAX(〇二六八)六八三〇二〇二

南木曽町森林組合

代表理事 藤原和年
組合長 役職員一同

株式会社 吉本

代表取締役 由井正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林二二二
☎(〇二六七)八六一四三〇五
FAX(〃)八六一五五四四

日本林業土木(株)

長野出張所
出張所 長野市岡田町三〇一六
長野県林業センタービル内
☎(〇二六)二二七六一八五

王滝林業有限公司

木材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
取締役社長 西路明
木曽郡王滝村四五六三一二
☎(〇二六四)四八一三三六三
FAX(〃)四八一三三六三

日本森林技術協会

一般社団法人
長野事務所 所長 油井章次郎
長野市御所岡町三〇一六
☎(〇二六)二二七一六六〇

株式会社 中部森林技術コンサルタンツ

建設コンサルタンツ
(森林整備・治山林道環境事業等
森林の総合調査設計)
支店長 長谷川洋
長野市稲葉中千田沖二〇四〇二
☎(〇二六)二二四一八七一〇

株式会社 飯田綜合木材センター

代表取締役 松下勝彦
長野県飯田市鼎切石四三三七番地
TEL(〇二六五)三三二二七七
FAX(〇二六五)三三二二五六七

木曽官材市売協同組合

理事長 勝野智明
長野県木曽郡上松町正島町二四四五
TEL(〇二六四)五二一三二四八
FAX(〇二六四)五二一三二四

竹村工業株式会社

国内産ヒノキ間伐材使用
高圧木毛セメント板製造・販売
下伊那郡松川町上片桐四六〇四
TEL(〇二六五)三六八六一一
FAX(〇二六五)三六八六五五

松本広域森林組合

代表理事 吉田満男
組合長 役職員一同

信州の木認証合板で 地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

(本社) 06-6228-1401
(七尾工場) 0767-52-4376
(舞鶴工場) 0773-68-0306
(北陸営業所) 0767-52-4376

謹賀新年



長野森林組合

代表理事 村石正郎
組合長 村石正郎
役員一同

北信州森林組合

代表理事 清水侃
組合長 清水侃
役員一同

栄村森林組合

代表理事 櫻沢俊一
組合長 櫻沢俊一
役員一同

長野地方緑化推進委員会

会 長 山村弘
役員一同

平澤林産有限会社

立木買取り・生産販売・支障木処理
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業
木材森林整備認定事業体
代表取締役 平澤照雄
長野県伊那市西春近四一〇五番地
TEL (0265) 781228
FAX (0265) 761575

一般社団法人

長野県猟友会

会 長 竹入正一

まつのじょうろ

グリーンプラマーク取得
地球にやさしい
生分解性フラチック製の
くん蒸用被覆シート
信濃化学工業株式会社
〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

大栄産業株式会社

松本市波田二九五―一―三七
☎ (0263) 921505
FAX (0263) 921580
ホームページアドレス <http://www.daiisogy.co.jp>

有限会社 高遠興産

素材生産事業、森林整備事業
代表取締役 林敏行
〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八―一
☎ (0265) 961007
FAX (0265) 711830

株式会社 酒井工業所

サンドキーパーマット
SN緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン管
松本市村井町南三丁目一〇番一四号
☎ (0262) 581300
FAX (0262) 861388

和合森林組合

代表理事 村澤博光
組合長 村澤博光
役員一同

東信木材センター 協同組合連合会

カラ松日本一を目指します
小諸市甲字鞍掛四七四七
TEL (0267) 231088
FAX (0267) 221293

株式会社 モリレン長野

損害保険代理店
環境事業計画施工・墓石
代表取締役 田中高徳
専務取締役 室賀秀樹
長野市中御所岡田町三〇一―一六
☎ (026) 226716
FAX (026) 226122

株式会社 キーテック

代表取締役社長 中西宏一
〒136-0082 東京都江東区新木場一七―二二
新木場タワー八階
TEL (03) 55341374
<http://www.key-tec.co.jp>

NPO法人 森林環境

“自然と共に”
理事長 湯沢要次
長野県駒ヶ根市経塚七―一
☎ (0265) 811483

株式会社 柳沢林業

信州・松本平の豊かな風景をつくる
松本市岡田下岡田七七四―一
☎ (0263) 871536

オガサワラ林業有限

森林整備・素材生産(産廃)収集運搬業
支障木伐採 処理 薪販売
代表取締役 小笠原良一
松本市中山四一三五―一四
☎ (0263) 581593

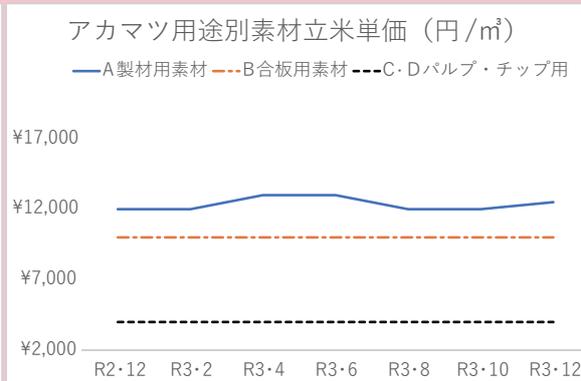
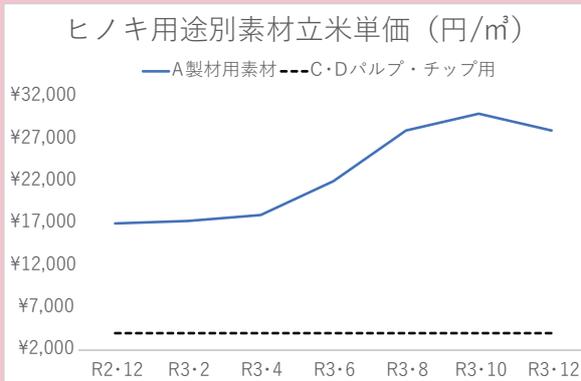
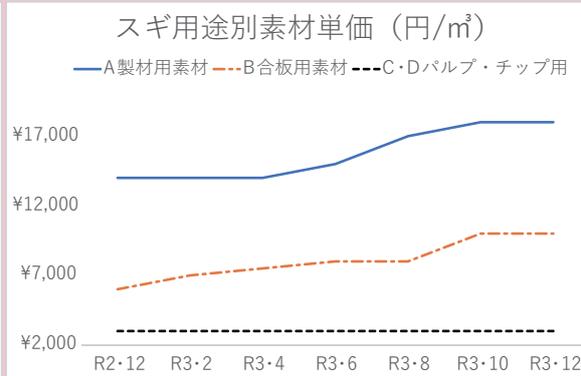
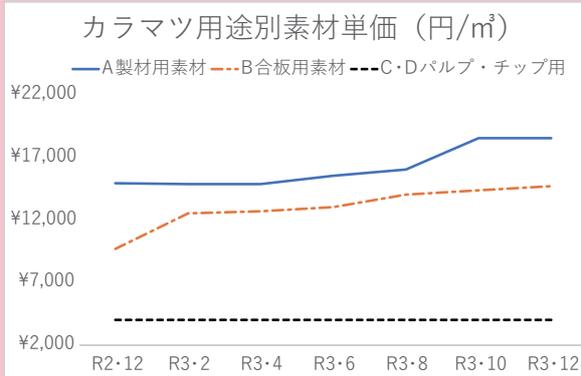
東信素材生産事業 協同組合

代表理事 星野勝好
組合員一同
小諸市大字平原字四ツ谷原九五―一
☎ (0267) 221504
FAX (0267) 221503

北アルプス森林組合

代表理事 割田俊明
組合長 割田俊明
役員一同

JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成。



ヒノキを中心に応札が活発だった伊那木材センター



北信木材センターではウッドショックの追い風を受け、近年にない優秀な結果に



中信木材センターで最高値が付いたトチ (4.8 m × 66 cm)



新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し、約1年半ぶりの会場入札を実施市売に活気が戻った

令和三年度記念市

多くの優良材のご出品、並びに高値でのお買い上げをいただき誠にありがとうございました。

県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪



長野県森連

